

日野市の子どもの貧困対策について

子どもの貧困とは？

必ずしも**経済的貧困**のみではなく、「**相対的貧困**」をさします。

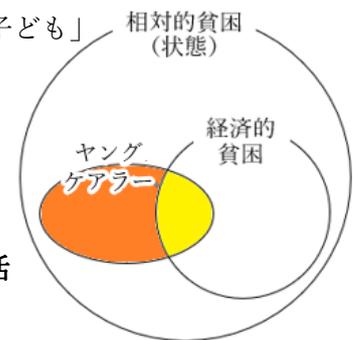
相対的貧困とは…

その社会においてほとんどの人が享受している「**普通の生活**」を送ることができない状態

子どもの例：「給食のない夏休み明け、体重が減っている」「用具が買えないため、クラブ活動に参加できない子ども」「親が病気のために家事をしなければいけない子ども」

出典：湯澤直美ほか編『子どもの貧困白書』2009,明石書店)

※経済協力開発機構（OECD）、欧州連合（EU）等の国際機関のほか先進諸国の大多数の政府が用いている概念



対して、**絶対的貧困**とは…

国や地域の生活水準とは無関係に生きていくうえで**必要最低限の生活水準が維持されていない状態**

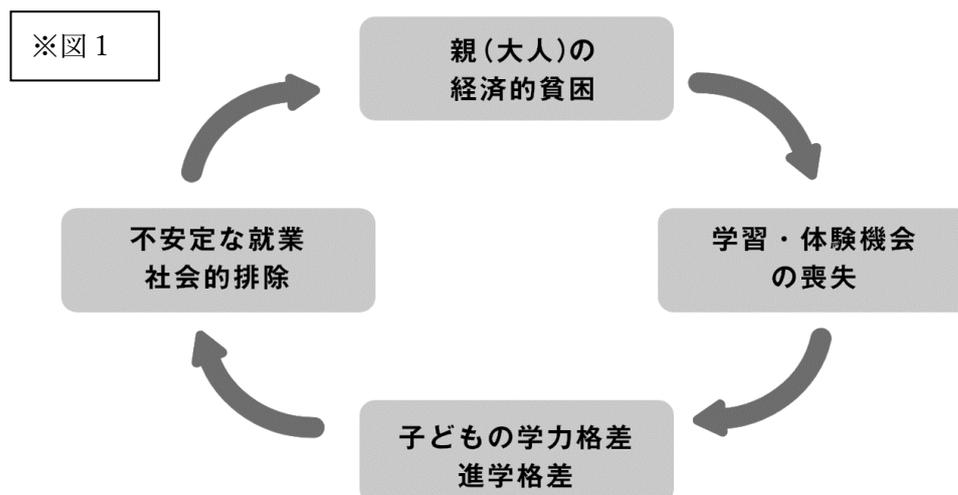
理由は多岐にわたりますが、**経済的な理由**だけではなく、ヤングケアラーや、親が子に関心がない、親が多忙で家族で過ごす時間が極端に少ない等による、体験機会の著しい欠如も貧困に該当するといえます。

体験機会の著しい欠如は子どもの自尊心や外向性、精神的な回復力の発達に影響が出るともいわれております。

その為、将来的に本人の**経済的な貧困**につながる可能性も高く、さらには貧困が次の世代まで連鎖してしまう可能性もあります。※図1参照

もしくは既に連鎖の中にいる可能性もあります。

この貧困の連鎖を断ち切る為にも、様々な分野からの多角的な子どもの貧困対策の推進が必要です。



出典：公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン HP

『子どもの貧困と教育格差』 <https://cfc.or.jp/problem>

令和4年度～

【第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針】

★目指すべき姿（最終的な目標）

全ての子どもたちが夢と希望をもって
成長していけるような地域を目指します

★指標

指標	現状値	目標(令和8年度)
子どもの相対的貧困率	省略	数値を下げます
生活保護世帯に属する子供の高校・大学等進学率	省略	数値を維持します 数値を上げます
電気、ガス、水道料金の未払い経験 (子どもと保護者の生活実態調査で「あった」と答えた保護者の割合)	省略	数値を下げます
学校の授業の理解 (子どもと保護者の生活実態調査で「あまりわからない」「ほとんどわからない」と答えた子どもの割合)	省略	数値を下げます
ひとり親の正規就業率(児童扶養手当受給者へのアンケート結果をもとに数値を測定)	省略	数値を上げます

★基本的な方向性（目指すべき姿を実現するための5本の柱）

- 1.子どもの遊び・学び・体験機会の提供と個々の学力向上に取り組みます
→施策項目1～5
→各課にてピックアップした各関連事業
- 2.安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります
→施策項目1～5
→各課にてピックアップした各関連事業
- 3.子どもに係る経済的負担の軽減を図ります
→施策項目1～3
→各課にてピックアップした各関連事業
- 4.子育て家庭の悩みへの支援強化と生活の質の向上に取り組みます
→施策項目1～3
→各課にてピックアップした各関連事業
- 5.効果的に情報を発信し、支援ネットワークを強化します
→施策項目1～4
→各課にてピックアップした各関連事業

第2期基本方針においては目指すべき姿は第1期より引き継ぎ、「基本的な方向性」は軽微な修正、基本方針の達成度合いを図る指標は一部変更し、関連事業は追加や見直しを行い、再編成しました。

中には一見すると貧困対策との関係が分かりづらいものもありますが、そういった事業も将来的な貧困の防止といった観点での施策になっております。

例)

<1104>個別最適な学びと協働的な学びの促進

→学校教育基本構想の推進の中で学習用端末の活用により「指導の個別化」「学習の個性化」が進められ、子どもの個々の生活環境に配慮した学習及び体験機会の提供ができることで個々の学力向上を目指す。それにより学力格差や進学格差、学習・体験機会の喪失を防ぐ。

<1206>地域でわかりやすい学習指導を実施する民間団体への補助等支援の実施

→いわゆる無料塾への運営補助。市内の無料塾が増える事で、有料塾に行けない、または馴染まない子ども等への学習・体験機会の喪失を減らす効果が見込まれ、将来的な貧困を防ぐ。

【日野市子どもの貧困対策推進委員会とは】

日野市子どもの貧困対策推進委員会は日野市から付託を受け、以下のことを行っている。

- ・基本方針の推進及び進捗に関すること（進行管理）
- ・子どもの貧困対策に結びつく情報交換等に関すること
- ・現行方針の見直し・改定作業（推進委員からの意見に加え、議会の指摘事項や理事者の意向、社会情勢や世論も尊重して見直し案を検討している）

【日野市子どもの貧困対策庁内連絡会とは】

庁内の連携体制をより強化し、包括的な支援を実施するために関係各課で構成されており、以下の事項について協議および検討する。

- ・基本方針案の作成に関すること
- ・庁内関係各課が情報や意識を共有し、密に連携をとり、それぞれが責任をもって子どもの貧困対策に取り組むためのネットワークの構築に関すること
- ・その他子どもの貧困対策に必要なこと

今後も子どもの貧困の解消に向けて取組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。